



11月18日(土)

和紙フェス初日の18日(土)は、武蔵野美術大学の学生による和紙ライブアートを実施しました。道の駅和紙の里ひがしちぶ内の広場にて大きな和紙に干支の動物を描き、独創性豊かな、迫力ある作品が作成されました。

また、紙漉き体験と和紙の里をめぐる「親子でわくわくアドベンチャー」を実施。小さなお子さんと保護者の方を対象に、お歌遊びや絵本の読み聞かせ、紙漉きを行いました。参加した子どもたちは、最初から最後まで笑顔が絶えることなく楽しく体験をしていました！
そして何と云っても、見どころは18日の夜限定のランタンナイトです。和紙の里の広場に置かれた、たくさんのランタンが午後5時から灯され、それぞれデザインが異なり世界でひとつだけのオリジナルランタンが会場を幻想的なものにしました。また、野外ライブも行われ、大きな盛り上がりを見せました。

11月19日(日)

和紙フェス2日目となる19日(日)は、参加型書道イベント「みんなで作る書道アート！」を実施しました。子どもから大人まで幅広い世代の方に参加いただき、墨の色も黒だけでなく、水色や赤、ピンクなどカラフルな数多くの書道作品ができました。

午後には鬼太鼓座の皆さんによる太鼓の体験と披露が行われ、こちらも多くの人が参加し楽しく和太鼓にふれあうことができました。また、鬼太鼓座の皆さんの和太鼓演奏は、見る人全てを魅了し大きな感動を与えてくれました。
今後和紙の活用、素晴らしさ、村の魅力を多くのの人々に伝えられるイベントを目指していきます。ぜひお楽しみに！

★和紙ライブアートと書道アートの作品は道の駅和紙の里ひがしちぶに展示していますので、ぜひゆっくりと見てみてください。